



谷文晁筆「豊嶂飛瀑図」 寛政2年(1790)

谷文晁と 江戸絵画

たに

ぶんちよう

2024年

10月5日(土)～
11月10日(日)

展示解説会

10月 5日(土) 14時より

10月 13日(日) 14時より

休館日

毎週月曜日

(月曜日が祝日の場合はその翌日)

開館時間

10時～16時

入館料

一般 500円

高校生 300円

(中学生以下は無料)

谷文晁と江戸絵画



谷文晁筆「離合山水図」(双幅) 文政9年(1826)



谷文晁筆「牡丹飛燕図」 文政4年(1821)

江戸絵画の巨匠・谷文晁は、白河藩主松平定信の御用絵師として寛政年間から文化年間にかけて幾度も白河に滞在し、小峰城内のアトリエ(小峰山房、小峰東堂)において多くの絵画作品を制作しています。また、白河藩絵師大野文泉・星野文良、画僧白雲、町絵師蒲生羅漢など多くの白河の画人を育てています。まさに白河における江戸絵画史をけん引したのが文晁でした。

企画展では、新出の文晁筆「昼嶂飛瀑図」「離合山水図」「薔薇白閑鳥図」「瀑布図」などを展示するとともに、伊藤若冲、英一蝶、椿椿山、岡本豊彦、高橋草坪、中林竹溪など多彩な江戸絵画作品など合わせて約30点ほど展覧いたします。この機会に国指定登録有形文化財の蔵の博物館に展示されている江戸絵画をぜひご鑑賞下さい。



伊藤若冲「菊花図」
寛政4年(1792)



同「菊花図」部分



英一蝶筆「石橋図」



岡本豊彦筆「赤壁之図」
菅茶山讃